

「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 2 年 7 月 10 日

事業名称		自立支援医療・補装具給付事業費[自立支援医療（更生医療・育成医療）給付事業]										
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	障害者福祉費	事業番号	5	
事業の種別		☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの（市の上乗せなし） ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの										
		担当部署・課長名		障害福祉		課		障害福祉		係		課長名
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		2 - 3		
【施策名】 障害者福祉の推進								総合計画書（ページ）		55		
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）							
	身体障害者・児				市内の身体障害者数							
	→											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）							
身体障害者・児の日常生活を容易にし、自立した生活が送れるようにする。				更生医療・育成医療の給付者数／市内の身体障害者数								
→												
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）								
身体障害者・児の日常生活を容易にし、自立した生活が送れるようにする。日常生活の便宜を増やすために、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、障害の軽減・除去及び進行を防ぐための更生医療の給付を行う。				更生医療・育成医療の給付者数								
→												
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標				
	対象指標	①の数値	人	2,682	2,675	2,617						
	成果指標	②の数値	%	2.7	2.5	2.4						
	目 標	②の目標値										
目標値設定の考え方（課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。）												
活動指標		③の数値	人	73	66	63						
3 経費	事業費（実績）		円	134,083,158	124,998,952	127,429,283	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 （退職手当組合負担金、共済費も含む。）					
	財源	一般財源	円	33,520,790	33,732,168	31,857,322						
		特定財源	円	100,562,368	91,266,784	95,571,961						
	(うち受益者負担)		円									
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2						
		所要人数(再任用)	人									
		職員人件費(再任用以外)	円	1,650,600	1,648,800	1,662,000						
職員人件費(再任用)		円										
事業費+人件費		円	135,733,758	126,647,752	129,091,283							
4 課題	今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ※廃止したものを除く ・生活保護世帯の人工透析者が急増し、保険給付がない生活保護受給者は医療費全額を更生医療で給付することとな 給付費が増えている。また、地域主権改革一括法の施行に伴い、平成25年4月から、障害者の日常生活及び社会生 総合的に支援するための法律に基づく育成医療の給付事務が東京都から市へ権限移譲され、給付費は増大している。											
	5 今後の方向性											
仕事の方向性（「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ※廃止したものを除く ・適切な支給決定事務を行う												